

平成29年度 第1回 大阪府立佐野工科高等学校 定時制の課程 学校協議会

1 日 時 平成29年6月26日(月) 午後6時～午後8時

2 場 所 大阪府立佐野工科高等学校 佐工会館1階

出席者 委員:松崎 保弘 田脇 光浩 東 壽美雄 熊取谷 要 本橋 正雄
(敬称略)

事務局:山田 啓次 山口 昌志 藤原 瑞穂 山田 真平 藤元 雄一郎
野間 圭吾 石倉 千睦 藤 俊幸

- 3 内 容
- (1)准校長挨拶
 - (2)学校協議会委員および事務局の紹介
 - (3)平成29年度 状況
 - ①各分掌より(進路・教務・生指・保健人権)
 - (4)平成29年度 学校経営計画
 - (5)その他
 - (6)協議
 - ① 平成29年度 学校経営計画について
 - ② 教科書選定について
 - ③ 佐野工科高校の課題

協議内容について

昨年度と委員、事務局が同じメンバーであったので、学校協議会委員および事務局の紹介は簡単に行い、教務部・生徒指導部・保健人権部・進路指導部の本年度の重点目標(取組み)と現在の状況の報告を行った。その後、准校長より、昨年度の学校経営計画の総括と今年度の学校経営計画の説明を行った。今年度は、学校経営推進費に応募したが、選外となり、今年度の学校経営計画の中の一つである英語実習のための実習室の改造予算がないので、教員が空き時間を利用して英語実習室を作っているとの説明と実地見学を行った。

協議では、昨年度の本校の取組みに対して高い評価をいただき、本年度の英語実習用の模擬店による英語接客演習への興味と期待を語られた。また、本年度4月から実施している登校後の外出禁止と、NPO 法人 D×P による「いごちカフェ」についても興味をもたれ、今年度の成果について、期待するとのことであった。その他、定時制生徒への支援活動や進路指導など生徒のために今年度も頑張してほしいという要望をいただいた。

平成29年度 第2回 大阪府立佐野工科高等学校 定時制の課程 学校協議会

1 日 時 平成29年11月10日(金) 午後18時～午後20時

2 場 所 大阪府立佐野工科高等学校 校長室

出席者 委員:松崎 保弘 田脇 光浩 熊取谷 要 本橋 正雄 鎌野 博
(敬称略)

事務局:山田 啓次 山口 昌志 藤原 瑞穂 山田 真平 藤元 雄一郎
野間 圭吾 藤 俊幸

3 内 容

(1)准校長挨拶

(2)進捗状況

- ①進路指導部より
- ②生活指導部より
- ③教務部より
- ④保健人権部より

(3)その他

(4)協議

- ① 学校経営計画進捗状況について
- ② その他

協議内容について

准校長あいさつの後、教務部が生徒の移動状況、進路指導部が現時点での生徒の進路状況、生徒指導部が生徒の懲戒および学校生活の状況説明、保健人権部が保健関係の説明など進捗状況について説明をした。その後、准校長から進捗状況として、定時制生徒による出前授業の実施について、定時制生徒が非常に興味を持って順調に実施している、今後残っている泉佐野市内の小学校にも出前授業の調整を行っているということ。英語実習について、教員の長期の病気休暇などがあり、現在のところ実施できていないが、体制を整えて実施に向けた準備中であること。また新たに、ドローンの操縦実習を、教員の中にプロジェクトチームを作り、学校設定科目として取り入れるための教材づくり等を始めているなどの説明を行った。

委員からは、英語実習については残念な状況であるが、それ以外に関しては、非常に意欲的で興味・関心が持てる。昨年度の取り組む姿勢から想像するに、良い成果が上がる事が期待できる。引き続き、定時制の生徒のために、新たな取り組みや指導を続けて欲しい。ということであった。

平成29年度 第3回 大阪府立佐野工科高等学校 定時制の課程 学校協議会

1 日 時 平成30年2月15日(木) 午後18時～午後20時

2 場 所 大阪府立佐野工科高等学校 校長室

出席者 委員:松崎 保弘 田脇 光浩 熊取谷 要 本橋 正雄

(敬称略)

事務局:山田 啓次 山口 昌志 藤原 瑞穂 山田 真平 藤元 雄一郎
野間 圭吾

3 内 容

(1)准校長挨拶

(2)本校の現状について

- ①平成 29 年度進路状況
- ②学校自己診断結果
- ③平成 29 年度学校評価 及び 平成 30 年度学校経営計画
- ④各分掌より現状報告

(3)協議

- ① 学校経営計画進捗状況について
- ② その他

協議内容について

○門番の効果はあるが教員が減る。これに対する課題に方策はあるのか？(委員)

・ICT化(門にカメラを付け、カメラを見ながら生徒と話すというようにしたいが、プライバシーの関係がネックとなっている。(学校)

○防犯カメラの設置をしない方がおかしいのではないか？(委員)

・教員のコミュニケーションにもなっているし、遅れて来た生徒とのコミュニケーションの場になっているので、基本的には人員増をお願いしているが、経済面で無理である。(学校)

○定時制生徒の減少について

・定時制のニーズがなくなったのかと言うと、そうでもなく勤労学生は少なくなっているが、障がいのある生徒(アスペルガーやコミュニケーション障がい)が増えている。発達障がいなどの生徒は、ある能力が優れていたりするが、コミュニケーション能力がないなど、優れた能力をしっかりと伸ばすという場に定時制を持って行くようにすれば良いのではないか？(委員)

・支援学校へ送られる生徒には、支援学校が得意とする障がいのある生徒でない生徒が入学するミスマッチが起こり、支援学校の教員も混乱している状況がある。(委員)

・支援を必要とする生徒を定時制で教育する新しいシステムを作る土壌は、大阪府の定時制にはあるのではないか。(委員)

○学校のイメージアップについて、生徒が中心になってやっているとは？

・生徒会が中心となって出前授業を行っている。生徒は、一生懸命教えるので、定時制の生徒もよく勉強する。しっかりした子だと小学校の教員や児童もわかっている。(学校)

・下駄づくりも生徒が作っていたが、全日制の生徒がやっていると思われるが、全定同じで佐野工科高生が良くやっていると思われるれば良いと思っている。(学校)

・生徒がほかの学校にない地域連携などでだんだん生徒の意識も変わってくるだろう。これに関しては、長期的に見なければならぬのではないか。(委員)

・こういうものなら生徒が参加できるというメニューのようなものはないのか？作って自治会にも示したり、ホームページにも出すようにすればいいのでは。(委員)

・進路状況が好転していることに関しても元公開すれば、学校斡旋による就職が多いということでアピールしては？(保護者にも知らせる)(委員)

・次回は斡旋を希望する生徒を増やしてゆきたい。(学校)

・校長の計画で、途中で成果のあるもの、まだ成果の出ていないものなどあるので、引続き目標に向かって努力してほしい。(委員)